

■日時 令和7年8月22日(金) ■天候 曇り

精華学園高校 広島・通 対 千葉県立松戸南高校

■球場 明治神宮野球 第1試合 3回戦

■試合時間 2時間58分 ■備考

■審判 球審:清水 塁審:栗村 柳瀬 米倉

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9							計	安	失
松戸南	千葉	0	7	0	0	0	1	0	1	4							13	8	4
精華学園広島・通	西中国・広島	0	0	0	0	3	0	0	0	1							4	5	2

松戸南

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	2	3	4	5	6	7	8	9				
1	遊	平野 佑馬	2	1	0	0	一ゴ	四球		投ゴ		投犠		四球	四球	四球				
2	一	馬場 海仁	4	1	0	1	遊ゴ	四球		三ゴ		四球		四球	捕邪	投ゴ				
3	投	山田 明正	4	2	2	2	四球	左安				三ゴ	投ゴ		四球	右安				
4	捕	上條 武人	4	2	1	0	四球	中安			投失	三ゴ		二ゴ		四球				
5	二	鷺田 海誠	2	2	0	1	三振	右犠			三ゴ		四球		四球	死球				
6	左	小林 拳	2	3	0	0		死球	三振		四球		四球		右飛					
6	打	柴山 常将	0	0	0	1										四球				
7	三	金子 未唯奈	2	0	0	1		四球		四球	三振		投直		四球	四球				
8	中	嶋田 幸太	4	1	2	2		中安		三振		四球	中安		四球	二ゴ				
9	右	向山 響	4	1	3	0		右安		中安		右安		四球	三振					
9	打	佐宗 健心	1	0	0	0										三振				
合計			29	13	8	8	残塁:16 併殺:1													
備考																				

■バッテリー

投手	捕手
山田 明正	上條 武人
鷺田 海誠	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
山田 明正	8	48	4	12	2		125
鷺田 海誠	1	8	1	0	4		35

精華学園広島・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9					
1	投	豊田 愛仁	4	2	1	1	中飛		死球		遊安		三ゴ		三失					
2	遊	脇 大和	4	0	0	0	三振		三振		投ゴ		遊ゴ							
2	打	橋本 莉桜	1	0	0	0									三振					
3	捕	近藤 晴空	4	0	2	1	一邪			中安	四球		三振		左2					
4	一	恵美 龍斗	4	0	0	0		三邪		二直	四球			三振	一ゴ					
5	右	和田 耕太郎	4	0	1	0		投ゴ		三振	三ゴ			中2						
6	二	幸川 凱音	4	0	1	0		投ゴ		三振			右安		三失					
7	三	溝手 琢史	3	1	0	0			投ゴ		四球	三振		三振						
8	左	平岡 斗磨	2	1	0	0			四球		四球	三振		三振						
9	中	宮本 琉世	2	0	0	0			三振		三失	投飛								
9	打	武井 泉樹	1	0	0	0														
9	打	西村 宙晃	1	0	0	0									三邪					
合計			34	4	5	2	残塁:9 併殺:0													
備考																				

■バッテリー

投手	捕手
豊田 愛仁	近藤 晴空
脇 大和	和田 耕太郎
和田 耕太郎	近藤 晴空

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数	
豊田 愛仁	5	0/3	33	6	4	12	5	120
脇 大和	3	0/3	19	2	1	10	2	81
和田 耕太郎	1		4	0	1	3	0	19

■戦評

神宮球場で行われた準々決勝第1試合は2回戦をコールドで制した千葉県立松戸南高校と富山連合と2点差の接戦で制した精華学園高校広島通信制の対戦となった。松戸南は2回に死四球と安打で無死満塁とすると、捕逸により1点を先制する。続いて一死満塁から山田が適時安打と失策により4点を追加し、この一回一挙7点を奪う。対する精華学園広島は3回に一死二三塁の危機を0点に抑え、裏の攻撃で四死球と暴投により二死満塁の好機を迎えるが三振で無得点と攻撃が噛み合わない。しかし、5回に再び一死満塁の危機を0点で抑えた裏の攻撃で、四死球と失策から1点を返す。さらに豊田の適時打や暴投で4点差に詰め寄せた。松戸南は6回に四球により二三塁の好機で嶋田が1点を追加する。さらに8回と9回に相手の守備の乱れから追加点をとり13-4で勝利した。一方敗れた精華学園広島は登板した3投手で計25四死球と投手陣が制球に苦しみ無念の敗戦となった。